

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		両事業所共に活動スペースは十分に確保している。コロナ化で密を避ける等の配慮についても、指導訓練室以外の更衣室を使用したり、都外活動をしたりと工夫しながら行った。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2	2	利用者10名に対して4～6名の配置で活動を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	2	療育的な観点から、階段や玄関の段差に着目して昇り降りする等のとりくみを行っている。階段については、手すりや滑り止めの設置をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	4	1	PDCAサイクルについては、まだ不十分なところがある。特に非常勤職員との共有が不十分。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		保護者の方々の意向を踏まえて、次年度の活動や送迎内容等を考えたりとできる限り保護者に寄り添う支援を大切に考えている。療育的な観点から、意向に沿うことが難しい場合は、その都度できるだけ保護者の方への丁寧な説明を心がけている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		ホームページや保護者会で情報を公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3		令和元年に受審。次年度に受審予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	3		月に1度の合同カンファレンス(常勤・非常勤)で虐待防止や権利擁護・ケース会議等様々な内容で行っている。また、外部の研修にもできるだけ参加した。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		利用者ご本人や保護者の方、職員と情報共有をしながら作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5		ツールを共有している場合と、関わるスタッフによって様々な場合がある。事例によっては、関わるスタッフとの関係性によってツールを使ったほうがよい場合と、そうでない場合がある。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	1	土曜活動のプログラムについては、職員間でミーティングをしながら考えているが、平日の活動については担当者が考えて行き、必要に応じて振り返りを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3	1	コロナ禍で感染予防の観点から、内容に制限はあったが、できるだけ固定化しないように工夫して行った。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	1	平日は短時間の活動になるが、その中でも個別的な対応を心がけている。土曜活動や長期休みについては、職員間で事前に打ち合わせをし、一人ひとりにあった支援を心がけている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		実際の活動の中でも集団活動(行動)と内容の個別化を大切に考えている。個別支援計画にもその旨を記載したり、口頭で説明したりしている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	4	1	常勤職員については、日々確認できているが、時間等の関係で、非常勤職員と共有することが難しいと感じている。特に日々の利用者実情について、しっかりと共有できるよう模索していく。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	2	終了後に振り返りや打ち合わせを行うことは、勤務時間や煩雑な事務作業の時間を確保するために難しいが、翌日のミーティングで振り返りを含めた話し合いや意見交換を行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	3	3	その日の担当者が記録し、お互いに共有したほうが良いことや改善が必要なことについては、ミーティングにて話し合いを行っている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	5		利用者ごとに相談支援事業所からモニタリングのお知らせが定期的にあるため、その都度情報提供をしたり、共有している。その内容も含め、日々のミーティングで職員間で共有している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	5		そのように努めている。	
	関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		会議に参加する場合は、児童発達管理責任者が出席している。事前に他職員と日常の様子を共有してから会議に臨んでいる。
		㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	3		学校によってやりとりが難しい場合がある為、連携を困難なことがあるが、保護者の方を通して情報共有できるよう務めている。
		㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	1	今現在医療的ケアが必要な方の受け入れはない。
		㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		6	1	保護者の方を通して、就学前の様子をお聞きし、共有できるようにしている。
㉔		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		福祉サービス事業所に対して、支援内容等の情報提供（書面）を行っている。 また、卒回後も保護者の方より利用者ご本人と近況報告等の情報共有をしている。	
㉕		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5		研修や説明会にできるだけ参加するよう努めている。	
㉖		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	3	今年度はコロナ禍でそのようなことは難しかった。	
㉗		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	3		今年度は参加していない。	
㉘		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	3		連絡帳や帰りの送迎時でのやり取りが不十分と感じた際は、電話やメール、または個別面談を行っている。その内容は職員間で周知し、共通理解に務めている。非常勤職員への周知が不十分なところがある為、今後工夫していく必要がある。	
保護	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1	利用者のケースによって面談等を通して行っている。	
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		契約時や保護者会等で説明を行っている。それでは不十分な場合はこちらから再度発信したり、保護者の方から問い合わせ等があった場合、丁寧な説明を心がけた。	

者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		年に2回の個別支援計画更新の際の個別面談以外に、保護者の方から要望があったり、こちらで必要を判断した際に、個別面談や電話対応等を行った。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5		今年度はコロナ禍で内容に制限はあったが、感染対策をしながら2回保護者会を実施した。次年度はコロナの様子をみながらではあるが、保護者の方々同士や保護者の方と職員との交流の機会が持てるような保護者会を模索したいと考えている。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3		今年度は幸いなことに保護者の方からの苦情はなかった。今後も利用者・保護者の方々に寄り添いながら質の高いサービスを提供していきたい。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			昨年度は2回通信を発行した。次年度はもう少し回数を増やして定期的に発行したい。また、ホームページの更新も滞り気味である為、定期的に見直しをする必要がある。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7	1		個人情報については十分に配慮を行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			利用者・保護者の方一人ひとりにあったやり方を心がけている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	1	今年度はコロナ禍で地域のおまつりや会主催のもちつき等の行事は中止となった。その中でも、調布福利まつりはオンラインの活動紹介で参加をしたりと、制限はあるもののできることは行った。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		非常勤職員への周知が不十分なため、改善の必要がある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		主に利用者や保護者の方を交えての訓練が主になっているため、職員の訓練もしっかりと行い必要がある。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			合同カンファレンス(常勤・非常勤)や日々のミーティングとうで定期的に話し合いを行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1		今現在、身体拘束を行うような事例はないが、今後必要に応じて保護者の方と連携とったり、個別支援計画に記載する。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		今現在食物アレルギーの方は利用していない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	1	都度ヒヤリハットを作成し、共有し、改善に努めている。